



喜小だより



令和4年3月17日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

卒業おめでとうございます！

学校の花壇に「ホトケノザ」の可憐な薄いピンク色の花が咲き始めました。これまで茶色一色であった花壇が、花のピンク色と葉の黄緑色が加わり、暖かい春の訪れを感じさせてくれています。

さて、今週の金曜日（3月18日）、6年生の卒業式があります。今、学校では、5年生による卒業式の会場の準備、6年生の卒業式の練習など、卒業に向けた準備をいろいろと行っています。また、6年生は、小学校を巣立つ前に、学校へのご恩返しである奉仕作業や、下級生に向けての引き継ぎを行っています。今年一年間、学校の最高学年として学校を引っ張ってきた子どもたちです。今、自分たちができることを考え、しっかり行動していて頼もしく感じています。きっと、中学校に行っても、持ち前の誠実さや本校で学んだ頑張るこ心を発揮して、さらに飛躍してくれると信じています。

6年生の保護者の皆様におかれましては、これまで子どもたちと一緒に本校を支えていただき、ありがとうございました。



同窓会入会式、卒業式予行練習 3月15日（火）

同窓会入会式及び卒業式予行練習を実施しました。新しい喜連川小学校になってからは、今年度の卒業生を含めて1027名、統合前の5つの小学校を合わせると16607名になります。本校出身の保護者の皆様には、新しい63名の同窓生が加わりましたので、これからも子どもたちをお守りいただければ幸いです。子どもたちには、仲間と絆を深めて、将来に向けて羽ばたいてほしいという話をしました。



5年生への引き継ぎ

6年生が毎日行ってきた国旗の掲揚ですが、卒業を前に5年生へ引き継ぎを行いました。密を避けるために、6年生の代表者から5年生の代表者への引き継ぎです。細かなコツを伝授していました。



喜連川小学校の
ホームページです。
ぜひご覧ください。

緑ベストへの思い

保護者の皆様は、校長・教頭が緑ベストを着ていることを子どもたちから聞いたことがあるかもしれませんね。普通の学校ではあまり見られない光景なので、子どもたちからも「何で着てるの？」と質問されたこともあります。実は、これを着ていると子どもたちを守るのにいくつかの利点があるためです。1つ目は校外からの不審者対策です。これを着ていれば目立つので、外からでも大人がいるのが分かります。2つ目は、子どもたちに困ったことが起きたときに、すぐに見付けることができるので助けを呼ぶことができるからです。3つ目は、子どもたちが安心して遊ぶことです。外に出ると、子どもたちがたくさん声を掛けてくれます。



登校班の確認（一斉下校）

3月9日（水）の下校時に、来年度の登校班の確認をしました。6年生が卒業しても、これまでと変わらずに安全に登校できるように新しい班長さん、副班長さんと並び方などを確認しました。



6年生の奉仕作業 3月3日（木）、8日（火）

卒業を前にして、6年生がお世話になった学校へ、感謝の気持ちを込めて奉仕作業を行いました。テキパキと働く姿が素晴らしかったです。



5年生の会場準備（シート敷き、椅子出し）

6年生の卒業式のために、新しく最高学年となる5年生が、体育館の会場準備を行いました。しっかり働くという伝統を引き継いでいます。

